

食育だより 4月

平成23年度 第1号 我孫子市立並木小学校

ご入学・御進級おめでとうございます

元気いっぱいの新入生を迎え、新学期の給食が始まります。

学校給食は、栄養のバランスのとれた食事を先生や友達と一緒に食べながら、心身の健康増進と成長、望ましい食習慣の形成を図ろうとするものです。

今年度も学校給食へのご理解とご協力をお願いいたします。

並木小の給食について

並木小の給食は旬の食材や行事食、郷土料理など、季節感や食文化を大切に献立を心がけています。素材の味を活かすため、みそ汁やスープなどは基本的に削り節やガラを使用してだしをとっています。

人気メニューのカレーやシチュー、グラタンなどのルウも手作りのものを使用しています。

地産地消（その土地で作られたものをその土地で消費すること）にも取り組んでおり、我孫子市の学校給食に使用のお米はすべて我孫子市内で育ち、収穫されたものを使用しています。また、並木小では久寺家の農家の方に協力していただき、採れた野菜を直接給食室に納品してもらい使用する、「我孫子産野菜の日」を設けています。その他の食材もできる限り国産の使用を心がけています。

また、食べ物を大切にするという意味で、クラスで食べ残しを減らす「残菜ゼロデー」や、噛むことの大切さを意識してもらうために、硬い物を取り入れた「カミカミ献立」、楽しさや自分の食べる物を自分で選ぶ「セレクト給食」などを取り入れています。

これらのように、給食は単なる昼食としてではなく「食育」の観点をもって実施しています。

また、食べ物を大切にするという意味で、クラスで食べ残しを減らす「残菜ゼロデー」や、噛むことの大切さを意識してもらうために、硬い物を取り入れた「カミカミ献立」、楽しさや自分の食べる物を自分で選ぶ「セレクト給食」などを取り入れています。



食物アレルギーの対応

我孫子市では市の基本方針に沿って、食物アレルギーの対応を行っています。

食物アレルギーの治療は、保護者の責任において行うものであり、学校はそれに協力するという基本的な考えとしています。原則として、医師の診断に基づいて、家庭でもアレルギー原因食品(アレルゲン)の除去食療法を行っているお子さんへの対応となります。

給食での対応は基本的に除去食での対応となりますが、医師の指示内容や学校の施設設備、献立内容などを検討し、可能な範囲での対応となります。

詳しくは、栄養士(三ツ橋)までご相談ください。



給食の準備・協力をお願いします

* 毎日の準備

給食のある日は、毎日清潔なナプキン、マスク、はし、歯ブラシを持ってきてください。

勉強をしている机で食事をするため、机にナプキンを敷き、準備中は衛生のためマスクをし、食後には歯みがきをします。

はしは、すべり止めがついていると食べ物がつかみやすく、食べやすくなります。

* 給食当番



白衣は毎週末に給食当番の児童が家に持ち帰りますので、洗濯をお願いします。翌週次の当番の児童が使用します。洗濯の際、ほころびやゴムの伸びなど気が付きましたら繕っていただくと助かります。

また、帽子に髪の毛をしまうので、髪の毛の長い児童はしまいやすいよう当番の時は髪をまとめるなど、ご協力ください。

給食費について

平成23年度の給食費は月額4100円(1食250円)で年間182回実施予定です。

ケガや入院などで1週間以上給食を欠食する場合は申請日から数えて4日以降(休業日除く)の給食については返金を行いますので、長期欠席等がわかった場合には速やかに担任を通して栄養士までご連絡ください。

給食停止を解除する場合も同様に連絡をお願いします。

今年度の給食の実施について

先月起こった東日本大震災の影響で、昨年度末の給食が急遽パン・ミルク給食に変更となり、保護者の皆様にはご迷惑をおかけしました。

今年度は4月6日現在、予定通り4月11日(月)から通常通りの給食を実施する予定です。

食材への放射性物質の影響については、日々、検査値等の状況が変化しているため、食材や水道水については国や県の通知等に基づいて使用をしていく予定です。検査をしたものについてはそのデータを取り寄せる等の対応をしていきます。

今後、状況の変化や計画停電等の影響により、給食献立や食材の変更、給食の中止などがある可能性があります。できる限り通常通りの給食を実施したい考えではありますが、保護者の皆様にはご協力いただくことも出てくると思いますのでよろしくお願い致します。

給食の対応についてご質問等がある場合は学校(栄養士)までご連絡ください。